

令和4年度 府中市立府中第一小学校経営計画

令和4年4月20日

府中市立府中第一小学校長 布宮 英明

教育目標

○人間尊重の精神とともに、責任と協力を重んじ、適切な判断力と創造性に富んだ情操豊かで自主的健康的な児童の育成を行うため、次の通り学校の目標とこれを踏まえて育成を目指す資質・能力を設定する。

- よく考える子（問題解決力）
- なかよくたすけあう子（実践力）
- つよいかからだの子（運動能力）
- 心ゆたかな子（人間関係形成力）

目指す学校像

「笑顔あふれるみんなの学校」

目指す学校像を達成するための3つの側面

- 児童が明日も行きたい学校をつくる
 - ・学習意欲の向上
 - ・自尊感情の高揚
- 保護者が信頼して通わせる学校
 - ・思いやりの心をはぐくむ
 - ・心身をきたえる
- 地域の方々が地域の学校として誇れる学校
 - ・府中市や第一小学校に誇りをもつ心の育成
 - ・保護者や地域との連携・幼小中学校の連携

（1）中・長期目標

教員と子供がしっかりとした信頼関係で結ばれた学校を創る

- ① 児童が明日も行きたい学校
「一小が大好きな児童」の育成に努める
- ② 保護者が信頼して通わせる学校
子供の安全・安心を守る学校づくりに努める
- ③ 地域の方々が地域の学校として誇れる学校
「地域の学校」として地域とともに歩んでいく学校づくりに努める

短期目標

「信頼～すべては落ち着いた授業から～」を合言葉に、学習規律を確立し、児童・保護者・地域が、子供の成長を感じ取れる学校を創る

- ① 児童が、授業で「わかった。できた。楽しい。」と実感させる
 - ② 保護者が、「安心・安全な学校で信頼して通わせられる学校」と感じさせる
 - ③ 地域が、「子供が落ち着いていて、地域の誇りの学校」と感じさせる
- そんな一年にする。

運営課題

- ① 教員と子供のしっかりとした信頼関係の構築（子供）
- ② 学校と家庭と地域との連携協力（地域・家庭）
- ③ 落ち着いた学級経営と結束（教員）

※以上を通して、児童の心と体を向上させる

2 方策

(1) 三つの視点から教育目標・目指す学校像を達成するための目標

① 児童が明日も行きたい学校を実現するために

目標1 学習意欲の向上

教員と児童の信頼関係の下、朝読書の習慣化により落ち着いた授業のための学習規律を確立する。そのうえで、児童の学習意欲を高めるために、児童による授業評価やGIGA スクール構想の情報機器を活用して、授業の工夫・改善をはかり、児童にとって「わかった。できた。楽しい。」を実感させる授業を目指す。また、問題解決能力を高めるための校内研究を行う。

目標2 自尊感情の高揚

わかば鼓笛隊・児童会活動・クラブ活動・異年齢集団活動・青少年赤十字活動等の活動を、学校経営支援事業等を活用して活性化し、集団への所属意識や規範意識を高めるとともに、上学年には高学年としての自覚と自尊感情の高揚を図る。また、校内に子供たちの作品を掲示して、互いの良さを認めていくことにより、自己肯定感を高める。

目標達成のための方策

方策1 学習意欲の向上

何を 児童による授業評価及び教員による管理職評価

いつまでに 1・2学期末(年2回)

どのように 児童による授業評価の実施および教員による管理職評価の実施

方策2 目標をもたせる

何を 府中市の公募作品にめあてをもたせて取り組ませる

いつまでに 各学年定めた時期までに

どのように 入賞をした児童を表彰する

方策3 自尊感情の高揚

何を 校内教育活動の掲示

いつまでに 年間を通じて

どのように 作品の掲示および教育活動掲示板の設置

数値目標

目標1 学習意欲の向上

目標数値 全国学力学習状況調査において、全国平均を上回る

目標2 自尊感情の高揚

目標数値 児童による授業評価アンケートの項目の「わかば鼓笛隊など上級生になったら、やってみたい活動がある」で肯定的な評価をする児童が85%以上

② 保護者が信頼して通わせる学校を実現するために

目標1 思いやりの心をはぐくむ

学校組織全体で通常の学級と特別支援教室等との交流、ノーマライゼーションの理念に基づく教育活動を進め、思いやりの心や他者と協力する態度をはぐくむ。また、特別支援に対する理解のための授業を行うとともに、保護者向けにも理解促進のための講演会等を開く。

目標2 心身をきたえる

家庭と連携を図り、規則正しい生活習慣を身につけさせる。教育活動全体を通して心身をきたえ、健康や安全に対する自己管理能力を高める指導を充実し、自他の生命の尊さに対する認識を深めるとともに、ロング昼休みを導入し体力向上を図る。さらに、いじめの未然防止・早期発見早期対応をし、いじめの重大事態の発生を防ぐ。

目標達成のための方策

方策1 特別支援教育の理解

何を ひばり教室・ことばの教室の理解促進授業
いつまでに 1学期
どのように 各教室の教員が通常学級の1・2年生対象に理解促進授業を行う

方策2 いじめの未然防止・早期発見

何を いじめ撲滅のための活動を企画する
いつまでに 2学期以降
どのように 委員会活動を活用し、児童のアイデアでいじめをなくしていく

方策3 心身をきたえる

何を ロング昼休みの設定
いつまでに 2学期以降
どのように 教員も率先して芝生の校庭に出て遊ぶ

数値目標

目標1 思いやりの心をはぐくむ

目標数値 保護者向け教育活動に関するアンケートの項目の「お子さんは楽しそうに学校に通っている」で肯定的な評価をする保護者が85%以上

目標2 心身をきたえる

目標数値 児童による授業評価アンケートの項目の「外で遊ぶことはすきですか」で肯定的な評価をする児童が85%以上

③ 地域の方々が地域の学校として誇れる学校を実現するために

目標1 府中市や第一小学校に誇りをもつ心の育成

府中版スクールコミュニティとして、地域コーディネーターや学校支援ボランティアと連携し学習活動の充実を図る。また、東京都や府中市の研究協力校等の先行研究や副校長等校務改善事業等を活用し、先生方が指導に集中できる環境をつくり授業の充実を図り、府中市や第一小学校に誇りをもつ心を育成する。

目標2 保護者や地域との連携

学期に一度学校公開を設定するとともに、なるべく多く児童の教育活動等を披露するなどの工夫により、学校を家庭・地域に一層開いていく。また、欠席受付方法の工夫を活用し不登校を未然に防ぐ。さらに、幼小中連携を図り、地域が「子供が落ち着いていて、地域の誇り」と感じさせる学校にする。

目標達成のための方策

方策1 府中市や第一小学校に誇りをもつ心の育成

何を 地域の学習
いつまでに 年間を通じて
どのように 地域コーディネーターや保護者の協力を得て、地域での学習を実施する

方策2 学校大好き児童の育成

何を 授業充実を図る
いつまでに 年間を通じて
どのように 教員は授業で「わかった。できた。楽しい。」と実感させる

方策3 不登校傾向児童の早期発見・早期対応

何を 出席受付方法の工夫
いつまでに 年間を通じて
どのように 欠席受付時に体温を確認する。連続5日欠席時の校長面接

数値目標

目標1 府中市や第一小学校に誇りをもつ心の育成

目標数値 児童の学校生活アンケート項目の「府中一小は良い学校だと思う」で、肯定的な評価をする児童が85%以上

目標2 保護者や地域との連携

目標数値 問題行動調査において、不登校0人を目標とする。（ただし、けやき教室やフリースクールなど外部の団体とつながっている児童については除く）